

## 参 考 資 料

### 地区研究会の活動紹介

#### Introduction to the activities of the Regional Associations for Laboratory Animal Science

わが国には現在 11 の地区研究会があり、独自の活動が展開されています。本報では、各地区研究会の間での情報交換、交流などを意図して、平成 27 年度の活動について北から順に紹介します。なお、会長、事務局担当者及び講演者、話題提供者の方々のお名前は敬称を省略させていただきます。詳細な内容をご希望の方は各地区研究会の事務局にお問い合わせ下さい。

#### Summary

There are eleven Regional Associations for Laboratory Animal Science in Japan, and each of them conducts independent activities. The present paper introduces the activities of the Regional Associations in 2015 to promote information exchange and interaction among them, starting from those of the northernmost association. In the paper, honorifics for the staff of the office, lecturers, and people who provided us with information on topics have been omitted. For the details, please contact the office of each Regional Association.

#### 北海道実験動物研究会

Hokkaido Association for Laboratory Animal Sciences (HALAS)

会長：有川二郎(北海道大学大学院医学研究科)

ホームページ：

<http://labani2.vetmed.hokudai.ac.jp/halas>

事務局：〒060-0818 札幌市北 18 条西 9 丁目

北海道大学大学院獣医学研究科

実験動物学教室 安居院高志

E-mail: [agui@vetmed.hokudai.ac.jp](mailto:agui@vetmed.hokudai.ac.jp)

TEL/FAX: 011-706-5106

#### 第 12 回研究会総会・学術集会 2015

平成 27 年 7 月 11 日(土)、北海道大学医学研究科臨床講義棟第三講堂

大会長：土佐紀子(北海道大医学研究科附属動物実験施設)

#### <一般講演>

- ① 生後発達期の大脳における *Ntn4* 遺伝子転写調節領域の解析 小島慶祐ら(北大生命科学学院)
- ② 脊椎動物の減数分裂特異的に発現する新規遺伝子 *Ccdc175* の機能解析 三國海音ら(北大生命科学学院、北大遺伝子病制御研究所・北大獣医研究科)
- ③ Miosin VI 変異体の感覚毛細胞間融合プロセスと機能低下型アレルに起因した難聴発症 関 優太ら(東京都医学総合研究所哺乳類遺伝プロジェクト)
- ④ *ex vivo* 処置を介さない CRISPR/Cas9 系による遺伝子改変マウス作製法「GONAD」の開

発 高橋 剛ら(東海大医学部基礎医学系分子生命科学、東京農大院生物産業学研究科、ネブラスカ大学医療センター、鹿児島大医用ミニブタセンター遺伝子発現制御)

- ⑤ Analysis of genetic loci for the resistance/susceptibility to the Sendai virus infection using congenic mice Raghda Mohamed Fathi Ahmed *et al.* (Laboratory of Animal Science and Medicine, Department of Disease Control, Graduate School of Veterinary Medicine, Hokkaido University)
- ⑥ レプトスピラ菌体抗原を用いたイムノクロマトグラフィーによる血清診断法の検討 塩川愛絵ら(北大院医学研究科微生物学講座病原微生物学分野、Department of Microbiology, Faculty of Medicine, The University of Peradeniya, Sri Lanka)
- ⑦ マウスマラリア原虫感染母体から得た産仔の里親哺育成績 古屋 花ら(帯広畜大原虫病研究センター、帯広畜大院畜産学研究科、岐阜大院連合獣医学)

#### <賛助会員アワー>

「日本チャールス・リバー(株)における新しい微生物モニタリングの紹介」  
丸山 滋(日本チャールス・リバー(株)、モニタリングセンター)

#### <特別講演>

「成人 T 細胞白血病のモデルマウスの進展」  
大杉剛生(酪農学園大獣医学群獣医学類)

# 〈一般講演〉

- ⑧マウス小眼球症を引き起こすPITX3のOARドメインを含むC末端領域の欠失  
多田智記ら(東京農大院生物産業学研究科、東京都医学総合研究所哺乳類遺伝プロジェクト、埼玉県立がんセンター臨床腫瘍研究所)
- ⑨新規無眼球症ラットNAK/Nokhの発症原因の探索 宗形春花ら(東京農大生物産業学部、東京農大院生物産業学研究科、東京農大生物資源ゲノム解析センター、東京都医学総合研究所哺乳類遺伝プロジェクト)
- ⑩マウス *Mip* 突然変異における初めての劣性白内障モデル 長谷川清香ら(東京農大院生物産業学研究科、東京都医学総合研究所哺乳類遺伝プロジェクト)
- ⑪スキムミルクを用いたイヌ精子の凍結保存における平衡時間短縮の可能性 阿部靖之ら(帯広畜大原虫病研究センター)
- ⑫ウイルス病モデル動物、LECラットに対する $\alpha$ -トコフェノールならびにトリエンチンの投与の効果について 林 正信ら(酪農学園大獣医学群獣医放射線生物学)

## 東北動物実験研究会

Tohoku Research Association for Animal Experiments

会長：三好一郎(東北大学大学院医学研究科)  
ホームページ：

<http://www.med.akita-u.ac.jp/~doubutu/tohoku/tohoku.html>

事務局：〒980-8575 仙台市青葉区星稜町2-1  
東北大学大学院医学系研究科附属  
動物実験施設内 小関陽子

E-mail:voko-k@med.tohoku.ac.jp

TEL:022-717-8175、FAX:022-717-8180

## 第26回研究会

平成27年11月20日(金)、東北薬科大学中央棟2F 2B講義室

共催：日本実験動物技術者協会奥羽・東北支部、後援：東北薬科大学、主管：東北薬科大学実験動物センター

## 〈講演会〉

1. 飼養保管施設の安定した湿度管理を目指して～露点浴空調機による湿度管理と効果～  
平澤基至(㈱日東エアテック)
2. RI センターのガスモニターが捉えていた巨大地震の先行現象  
山本文彦(東北薬科大放射薬品学教室)
3. 遺伝子組換え・ゲノム編集動物の作製と応用 三好一郎(東北大院医学系研究科附属

## 動物実験施設)

4. からだの栄養・代謝状態と味嗜好性変化のメカニズム 駒井三千夫(東北大院農学研究科生物産業創成科学専攻食品機能健康科学講座栄養学分野)

## 筑波実験動物研究会

Tsukuba Association for Laboratory Animal Science

会長：山海 直(医薬基盤・健康・栄養研究所)

ホームページ：<http://www.talas.jp/>

事務局：〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6 11F

日本チャールス・リバー(株)内 上田 尚

E-mail:office@talas.jp

TEL:045-474-9340、FAX:045-474-9341

## 第23回研究会総会および第49回講演会

平成27年6月12日(金)、文部科学省研究交流センター

## 〈シンポジウム〉 実験動物のハンドリング

1. マウス・ラットの処置馴化(ハンドリング)について 根津義和(第一三共(株)葛西研究開発センター)
2. ウサギのハンドリング 平尾雅郎(北山ラベス(株)伊那バイオセンター)
3. ミニブタのハンドリング 矢吹慎也(オリエンタル酵母工業(株)バイオ事業部)
4. 輸入サル類の検疫と試験操作に適した馴化トレーニング 菊地聡史(ハムリー(株)動物技術研究所)

## 〈展示・ポスター発表等〉

## 〈教育講演Ⅰ〉 遺伝子改変技術シリーズ(第3弾)ー遺伝子改変動物の基礎から最新技術までー

「CRISPR/Cas9を用いたゲノム編集の基礎から応用」本多 新(宮崎大テニユアトラック推進機構)

## 〈教育講演Ⅱ〉 動物倫理・福祉シリーズ(受講証明書発行対象講演)

「実験動物学の展開に期待することー動物実験倫理の観点からー」鍵山直子(実験動物中央研究所)

## 第50回記念講演会

平成27年11月20日(金)、文部科学省研究交流センター

## 〈シンポジウム〉 「実験動物の鎮痛・麻酔」

1. マウス・ラットの麻酔法および安楽死法の実際 岡村匡史(国立国際医療研究センター)
2. 大動物の麻酔・鎮痛・周術期管理・安楽死の基本 橋本道子(アステラスリサーチ

クノロジー(株)

### 3. 麻酔関連機器の紹介 ブース展示企業からの紹介

〈展示・ポスター発表等〉

〈教育講演〉 遺伝子改変シリーズ(第4弾)

ー遺伝子改変動物の基礎から最新技術まで

「動物実験におけるカルタヘナ法ー知って

おきたいルールと運用ー」 國田 智(自治医科大)

〈第50回記念特別講演〉 動物倫理・福祉シリーズ(受講証発行対象講演)

「動物実験に関する規制ー過去から将来へー」 八神健一(筑波大)

## 北陸実験動物研究会

Hokuriku Laboratory Animal Research Association

会長：山本 博(富山大学生命科学先端研究センター動物実験施設)

ホームページ：

<http://kiea.w3.kanazawa-u.ac.jp/lara>

事務局：〒920-8640 金沢市宝町 13-1

金沢大学学際科学実験センター

実験動物研究施設内

E-mail:lara-info@kiea.m.kanazawa-u.ac.jp

TEL:076-265-2460、FAX:076-234-4240

### 第49回研究会(金沢)

平成27年2月14日(土)、金沢大学宝町キャンパス・医学類G棟第4講義室

実験動物技術者協会北陸支部との合同開催

〈実験動物技術者協会北陸支部講演会〉

「金沢大学での15年間を振り返って」

浅野雅秀(京都大医学研究科附属動物実験施設)

〈特別講演1〉

「FELASA リコメンデーション2014について」

佐藤 浩(自然科学機構生理学研究所動物実験コーディネータ室)

〈特別講演2〉

「富山大学動物実験施設での20年ー施設を支え発展させた人々ー(仮)」 山本 博(富山大生命科学先端研究センター動物実験施設・北陸実験動物研究会会長)

### 第19回総会・第50回研究会(金沢)

平成27年7月4日(土)、金沢大学宝町キャンパス・医学類G棟第4講義室

〈維持会員ニュース〉 ニノックスラボサプライ(株)「PCRを活用した新しい微生物モニタリングの紹介」 丸山 滋(日本チャールス・リバー(株)モニタリングセンター)

〈特別講演〉

1. 加齢により卵子が染色体数異常となる原因 北島智也(理化学研究所多細胞システム形成研究センター染色体分配研究チーム チームリーダー)

2. Y染色体をもたない哺乳類の性決定メカニズム 黒岩麻里(北大院理学研究院生物科学部門)

### 第51回研究会(富山)

平成27年12月26日(土)、富山大学薬学部研究棟7階セミナー室

〈特別講演〉

1. エボラ出血熱と抗ウイルス剤 白木公康(富山大医学部医学科ウイルス学研究室)

2. 遺伝子改変マウスの行動解析を起点とした精神疾患研究 高雄啓三(富山大研究推進機構総合支援センター生命科学先端研究支援ユニット動物実験施設)

## 信州実験動物研究会

Shinshu Experimental Animal Research Association

会長：松本清司(信州大学ヒト環境科学研究支援センター動物実験部門)

事務局：〒396-0025 長野県伊那市荒井 3052-1

北山ラベス(株) 事業部 北條佳昭

E-mail:hojo.yoshiaki@nisshin.com

TEL:0265-78-8115、FAX:0265-78-8885

### 第35回総会・勉強会・研究発表会

平成27年3月6日(金)、信州大学農学部17講義室

### 第82回勉強会

「環境エンリッチメントの取組み」 信大、イナリサーチ、キッセイ薬品工業、シミックバイオリサーチセンター、北山ラベスによる発表

### 第33回研究発表会

1. 移植研究のためのカニクイザルMHC遺伝子のDNAタイピング法の開発 山田幸穂(株イナリサーチ)

2. 非臨床試験におけるマイクロCTの可能性 井戸大介(株イナリサーチ)

3. ブタ精子の水素による酸化ストレスの軽減 内藤詞子(信州大農学部)

### 第83回勉強会

平成27年11月13日(金)、信州大学松本旭キャンパス旭研究棟9階C講義室

「実験動物を用いた筋ジストロフィーの基礎研究から治療応用」 中村昭則(信州大医学部附属病院難病診療センター)

「iPS細胞を用いた心筋梗塞治療：霊長類モデルにおける前臨床試験」 柴 祐司(信州大バ

イオメディカル研究所/医学部附属病院循環器内)  
○信州実験動物研究会報 No. 62 2014 年 3 月発行

## 静岡実験動物研究会

Shinzuoka Experimental Animal Research Association

会長：石川智久（静岡県立大学薬学部）

ホームページ：<http://www1a.biglobe.ne.jp/shizudou/>

事務局：〒412-8513 静岡県御殿場市駒門 1-135  
（株）中外医科学研究所 御殿場ブランチャイ藤辰哉

E-mail: itotatas@chugai-pharm.co.jp

TEL: 0550-87-8327、FAX: 0550-87-5219

### 第 45 回総会・第 43 回研究発表会

平成 27 年 10 月 10 日（土）、グランシップ（静岡県コンベンションセンター）

大会担当幹事：旭化成ファーマ（株）

＜静岡実験動物研究会協賛 シンポジウムⅡ＞

「代替法」

「ゼブラフィッシュ研究の最前線」川上浩一

（国立遺伝学研究所初期発生研究部門）

「代替実験動物としてのカイコの有用性」

関水と久（東京大院薬学研究科/（株）ゲノム

創薬研究所）

＜第 45 回静岡実験動物研究会総会＞

＜静岡実験動物研究会主催特別講演＞

「環境エンリッチメント、その導入と実践に実験動物技術者が果たす役割」黒澤 努

（鹿児島大客員教授）

＜研究発表会＞

1. ナフトピジルによる畜尿症状改善機序の解明 道下真衣ら（旭化成（株）医薬研究センター薬理第二研究部）
2. ラットにおける卵巣摘出による臨床検査値への影響 田邊容子ら（旭化成（株）医薬研究センター安全性・動態研究部）
3. Wistar Hannover ラットにおける発達神経毒性試験の基礎データ 名波加奈ら（公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター）
4. 投与液調製法の自動化検討ー乳鉢法との比較ー 川島理沙ら（興和（株）富士研究所）
5. 自転/公転ミキサーを用いた投与液調製法 吉村陽子ら（興和（株）富士研究所）
6. マウス精巣性テラトーマ形成の新規原因遺伝子の検索 宮崎岳大ら（静岡大創造科学技術大学院バイオサイエンス専攻、静岡大理学部、浜松医大医学部付属実験動物施設）

7. 光化学的特性および皮膚内動態に基づく経皮適用化合物の光安全性評価 世戸孝樹ら（静岡県立大薬学部薬物動態学分野）
8. 血液・血液化学検査試料と血液凝固検査試料を同一マウスから採取する方法について 長田ちさとら（（株）ボゾリサーチセンター御殿場研究所）
9. マイクロミニビグの精巣の組織学的特徴 寒川彰久ら（静岡県畜産技術研究所中小家畜研究センター）
10. 眼圧上昇白色ウサギにおける角膜の変化 堀内直美ら（（株）ボゾリサーチセンター 函南研究所）
11. 骨粗鬆症治療薬が 2 型糖尿病モデルラットの骨代謝に及ぼす効果 北見彰啓ら（旭化成ファーマ（株）医薬研究センター薬理第一研究部、大阪河崎リハビリテーション大、和歌山県立医科大）

＜ポスター発表＞

動物実験施設内の耐震固定の問題点と対策：

穴を開けない固定方法の提案 加藤恒雄ら

（（有）キョウエー、（株）セノ、国立長寿医療研究センター研究所実験動物管理室）

## 東海実験動物研究会

Tokai Association for Laboratory Animal Science

会長：三好一郎（名古屋市立大院医・実験動物研究教育センター）

ホームページ：[http://www.med.nagoya-cu.jp/animal.dir/animalweb/tokai/tokai\\_index.html](http://www.med.nagoya-cu.jp/animal.dir/animalweb/tokai/tokai_index.html)

事務局：〒501-1194 岐阜市柳戸 1-1

岐阜大学生命科学総合研究支援センター動物実験分野 二上英樹

E-mail: nikami@gifu-u.ac.jp

TEL: 058-230-6609、FAX: 058-230-6044

### 第 86 回研究会（2014 年 3 月例会）

平成 27 年 3 月 28 日（土）、岐阜大学医学部教育福利棟 2 階講義室

＜講演＞

＜企業講演＞

「新規コンパクト実験動物飼育施設における洗浄度管理」オリエンタル技研

＜特別講演 1＞

「CRISPR/Cas システムが開く遺伝子改変マウスの未来」伊川正人（大阪大微生物病研究所 附属感染動物実験施設）

＜特別講演 2＞

「ゼブラフィッシュにおけるゲノム編集の実際」高島茂雄（岐阜大生命科学総合研究支援セン

ターゲット研究分野)

## 第 87 回研究会

平成 27 年 12 月 12 日(土)、岐阜大学医学部  
教育福祉棟 2 階講義室

〈送別記念講演〉

「東海実験動物研究会の節目に当たり」

三好一郎(東北大院医学系研究科附属動物実験施設(医用動物学分野))

〈特別講演〉 「これからの動物実験施設」

「スイート方式と飼育器材自動洗浄方式を  
応用した動物実験施設の紹介」 高橋英機  
(国立研究開発法人理化学研究所脳科学総合  
研究センター動物資源開発支援ユニット)  
「飼育施設における動物アレルギー対策につ  
いて」 宮本阿美菜(テクニプラスジャパン)

〈一般講演〉

1. 嚢胞性腎疾患モデル動物における有用性  
の比較 釘田雅則ら(藤田保健衛生大疾患  
モデル教育研究センター)
2. 癌型 K-Ras 依存的な肺発がん感受性遺伝  
子座の探索 齋藤弘充ら(三重大生命科学  
研究支援センター機能ゲノミクス分野動物  
機能ゲノミクス部門)
3. スンクスにおける食堂と胃の迷走神経支配  
に関する研究 山本彩子ら(名古屋大院生  
命農学研究科動物形態情報学研究分野)
4. Canine Femur Classified through DEXA  
System Shin Tanaka
5. 岐阜大学動物実験施設におけるネズミ盲腸  
蟻虫感染への対応 今度匡祐ら(岐阜大生  
命科学総合研究支援センター動物実験分  
野)

## 関西実験動物研究会

Hansai Laboratory Animal Research  
Association

会長:喜田正和(京都府立医科大学大学院医学  
研究科実験動物センター)

ホームページ:

<http://www.klara.umin.ne.jp/>

事務局:〒602-8566 京都市上京区河原町通広  
小路上る梶井町 465  
京都府立大学 実験動物センター  
酒井ゆうこ

E-mail:kansaijm@koto.kpu-m.ac.jp  
TEL & FAX:075-251-5383

(出来るだけ、メールでのご連絡を希望)

## 第 125 回研究会

平成 27 年 3 月 6 日(金)、京都大学楽友会館  
2 階会議・講演室

テーマ:関西実験動物研究会へようこそ

〈講演〉

1. 幹細胞の多機能性維持と分化のメカニズム  
依馬正次ら(滋賀医大動物生命科学研究支  
援センター幹細胞・ヒト疾患モデル研究分  
野、科学技術振興機構)
2. 糖鎖は様々な生命現象のカギとなっている  
浅野雅秀(京都大院医学研究科附属動物実  
験施設)

〈維持会員ニュース〉

オリエンタル酵母(株) 伊奈 MP 生産センター  
「実験動物としての豚の位置付けおよびハン  
ドリング(ゲッチング・ミニブタ)」

## 第 126 回研究会

平成 27 年 6 月 12 日(金)、神戸大学医学部会  
館シスメックホール

テーマ:エビジェネティクス研究の最前線

〈講演〉

1. 膵β細胞機能のエピゲノム制御  
木戸良明(神戸大院保健学研究科病態解析  
学領域分析医学分野)
2. 発生分化におけるエビジェネティクス制  
御 仲野 徹(大阪大院生命機能研究科時  
空生物学/医学系研究科・病理学)

〈トピックス〉

創薬の隘路『Phase 2 Attrition』の克服に  
向けてー実験動物学の進展への期待  
樽林陽一(日本医療研究開発機構創薬支援戦  
略部)

〈維持会員ニュース〉

小原産業 「行動実験用の防音シールド室に  
ついて」

## 第 127 回研究会

平成 27 年 9 月 12 日(土)、大阪大学 銀杏会  
館

テーマ:哺乳動物における生殖工学技術の新た  
な展開

〈講演〉

1. CRISPR/Cas9 による哺乳動物でのゲノム  
編集 真下知士(大阪大医学部附属動物実  
験施設)
2. ライブセルイメージングを用いた着床前  
初期胚の質の評価 山縣一夫(近畿大生物  
の理工学部遺伝子工学科)

〈トピックス〉

動物福祉と供養の倫理 伊勢田哲治(京都大  
文学研究科現代文化学専攻現代文化学講座)

〈維持会員ニュース〉

(株)ビッグバン 「動物実験電子申請システム  
のご紹介」

## 第 128 回研究会

平成 27 年 12 月 4(金)、京都大学 楽友会館  
 <講演>

「ラット」

1. TMR/Kyo ラットにおける本態性振戦の遺伝子の解明 西谷あい ら(京大院動物実験施設、大阪府大獣医病理、広島大理、日本エスエルシー)
2. ミエリン異常ミュータントの病態比較 谷村聡美ら(大阪府大、京大院医動物実験施設)
3. 新規肥満・糖尿病モデル ZFDM ラットにおける膵島の形態学的解析 横井伯英ら(神戸大院分子代謝学、星野試験動物飼育所)
4. アトピー性皮膚炎モデルラットの治療試験 庫本高志ら(京大院医動物実験施設、京大、京大医皮膚科学)

「ウサギ」

5. WHHLMI ウサギを用いた新規脂質低下剤の薬創効果および作用機序 田村翔平ら(神戸大院医疾患モデル動物病態生理、動物実験施設)
6. 冠動脈の走行がアテローム性動脈硬化病変の発生・進展に及ぼす影響、WHHLMI ウサギを用いた病理組織学的解析 永坂亮輔ら(神戸大院医疾患モデル動物病態生理、動物実験)

「マウス・その他」

7. 系統差による癌型 K-Ras 依存的な発癌感受性遺伝子の検索 齋藤浩充ら(三重大生命科学研究支援センター機能ゲノミクス、動物機能ゲノミクス)
8. 4 週間の反復投与毒性試験結果(肝臓小核試験および病理組織検査)から肝がん性を予測する 濱田修一ら(LSI メディエンス、医薬品食品衛生研究所、ヤクルト本社、食品農医薬品安全性評価センター)
9. 大阪大学大学院医学研究科 附属最先端医療イノベーションセンター中大動物実験施設の紹介 福田 肇ら(阪大院医最先端医療イノベーションセンター中大動物実験施設)
10. CAR バチルスに学名がつけました! 池 郁生ら(理研バイオリソースセンター、放医研基盤技術センター)

<特別講演>

1. iPS 細胞を用いる細胞治療の現状と展望 木村貴文(京大 iPS 細胞研究所基盤技術研究)
2. 角膜再生医療のあゆみ 外園千恵(京都府大院医視覚機能再生外科)

物生命)

○関西実験動物研究会報 37 号 平成 27 年 12 月 15 日発行

## 岡山実験動物研究会

Okayama Association for Laboratory Animal Science

会長：国枝哲夫(岡山大学大学院環境生命科学研究科)

ホームページ：<http://okayamexpanim.sharepoint.com/Pages/default.aspx>

事務局：〒700-8530 岡山市北区津島中 1-1-1

岡山大学大学院環境生命科学研究科  
 ・農学部動物遺伝学教室気付

E-mail:tkunieda@cc.okayama-u.ac.jp

E-mail:ksato@cc.okayama-u.ac.jp

TEL:086-251-8314、FAX:086-251-8388

## 第 69 回研究会例会例会

平成 27 年 6 月 26 日(金)、川崎医科大学現代医学教育博物館 2 階大講堂

世話役：大熊誠太郎(川崎医科大学・薬理学教室・教授)・三上 崇徳(川崎医科大学・中央研究部・中央研究センター)

<一般講演>

1. 似て非なる C57BL/6 マウス 目加田和之(岡山理科大学理学部動物学科)
2. スートリア *Myocastor coypus* を用いた試験と実験 小林秀司・生野あゆみ・柳原綾佳・新居康平・比嘉大樹・清水慶子(岡山理科大学理学部動物学科)
3. 蝸牛外ラセン溝周辺におけるミオイノシトール輸送体タンパク質の発現 山地真裕美<sup>1</sup>・井上理佐<sup>1</sup>・枝松 緑<sup>2</sup>・安藤元紀<sup>1</sup>(<sup>1</sup>岡山大学院教育学研究科・細胞生理学研究室、<sup>2</sup>岡山大院医歯薬学総合研究科・分子医化学分野)
4. <演者の都合により取り下げ>
5. e-learning システムを用いた動物実験教育訓練知識確認テストの実施 矢田範夫・上藤千佳・平山晴子・樺木勝巳(岡山大自然科学研究支援センター動物資源部門、岡山大動物実験委員会)

<特別企画>「動物実験と社会—適切な動物実験の実施体制を考える—」

1. 「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針について」勝股 靖貴(文部科学省研究振興局ライフサイエンス課生命科学研究係長)
2. 「動物実験を実施している研究機関等の責務について」喜多正和(公私立大動物実験施設協議会会長、京都府立医科大院

医学研究科実験動物センター・教授)

3. 「岡山大学における動物実験に関わる機関管理体制の構築—非医療系キャンパスでの機関管理拠点として動物実験施設の整備コンセプトとその運用—」 樺木勝巳 (岡山大自然生命科学研究支援センター 動物資源部門・教授)

## 第70回研究会例会

平成27年12月11日(金)、加計学園50周年記念ホール(岡山理科大学)

世話役: 愛甲博美先生・城ヶ原貴通先生・

目加田加之先生(岡山理科大学理学部)

〈特別講演〉

マウス卵子におけるミトコンドリアの特性  
若井拓哉先生(岡山大学大学院環境生命科学研究科・動物生殖細胞工学研究室)

〈一般講演〉

1. 実験動物スunksにおける新規コロナウイルスの探索

寺田 豊<sup>1,2</sup>、下田 宙<sup>1</sup>、Nguyen Van Dung<sup>1</sup>、  
鉾田龍星<sup>1</sup>、城ヶ原貴通<sup>3</sup>、織田銑一<sup>3</sup>、  
高野 愛<sup>1</sup>、本道栄一<sup>4</sup>、前田 健<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 山口大学・獣医微生物、<sup>2</sup>(独)日本学術振興会特別研究員 PD、<sup>3</sup> 岡山理科大学・動物、  
<sup>4</sup> 名古屋大学・動物形態情報学

2. スunksを用いた脳下垂体神経葉ホルモン・受容体系の解析

佐藤慧太・坂本浩隆(岡山大院自然科学研究科・理学部附属臨海実験所)

3. スunksで作るモノクローナル抗体  
佐渡義一(重井医学研究所免疫部門)

4. スunks骨格筋繊維の生化学的特徴  
市川宏仁<sup>1</sup>・松尾大輝<sup>1</sup>・宮田宏文<sup>2</sup>・

和田直巳<sup>1</sup> (山口大連合獣医研究科<sup>1</sup>・山口大農学部<sup>1</sup>) 研究科<sup>1</sup>・山口大農学部<sup>1</sup>)

5. スunksの腹腔内における画像解析により得られた知見 伊藤聡史・富山友里奈・木村 透 (山口大学共同獣医学部病態制御実験動物学)

## 第4回実験動物科学シンポジウム

### 「新たな疾患モデル動物が切り開く橋渡し研究」

(公社)日本実験動物学会との主催

12月11日(金)、加計学園50周年記念館ホール(岡山理科大学)、後援: 岡山理科大学

〈セッション1〉 【スunksの疾患モデルとしての可能性を探る】 座長 織田銑一(元岡山理科大学理学部動物学科)

- ①はじめに—実験動物としてみたスunksの諸特性 織田銑一(元岡山理科大学理学部)

- ②神経ペプチド・ホルモン分子の進化と機能

行動制御モデルとしてのスunks

坂本浩隆(岡山大院・自然科学研究科)

- ③スunksを用いた消化管運動研究—モチリンとグレリンの相乗作用について—  
坂井貴文(埼玉大学院・理工学研究科)

- ④スunksにおける低温不耐性のメカニズム 城ヶ原貴通(岡山理科大学理学部)・

鈴木大雄(株オリエンタルバイオサービス)

〈セッション2〉 【新しいモデル動物—ツパイ、フェレット】 座長 吉川欣亮(東京都医学総合研究所・哺乳類遺伝プロジェクト)

- ①新たなヒト型感染症モデル動物としてのツパイ 小原道法(東京都医学総合研究所・感染制御プロジェクト)

- ②フェレットを用いた高等哺乳動物の脳神経系の分子遺伝学的解析

河崎洋志(金沢大学・医薬保健研究域)

〈セッション3〉 【トランスレーショナルリサーチのための新たなモデル動物と作出

座長 若菜茂晴(理化学研究所・バイオリソースセンター)

- ①様々な動物のアレルギーから発するトランスレーション研究 田中あかね(東京農工大学大学院・農学研究科)

- ②ゲノム編集の基礎と新たな哺乳類モデルの樹立 本多 新(宮崎大学・テニユアトラック推進機構)

○岡山実験動物研究会報 第31号 2015年4月発行

## 九州実験動物研究会

Kyushu Experimental Animal Research Association

会長: 大沢一貴(長崎大学先端生命科学研究支援センター)

ホームページ:

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/AnimalCenter/kyujitsuken/index.html>

事務局: 〒849-0938 佐賀市鍋島5-1-1

佐賀大学総合分析実験センター

生物資源開発部門 北嶋修司

E-mail: kitajims@cc.saga-u.ac.jp

TEL: 0952-34-2430, FAX: 0952-34-2024

## 第33回九州実験動物研究会総会

## 第35回日本実験動物技術者協会九州支部研究発表会合同開催

平成27年11月7日(土)・8日(日) 九州大学医学部同窓会館

8日は若手勉強会のみ

九州実験動物研究会福岡大会大会長

大沢一貴(九州大学大学院医学研究院)

日本実験動物技術者協会九州支部研究発表

会 野口和浩(熊本大学大学院生命科学研究部)

〈実技協九州支部 特別講演〉

「国際基準に沿ったげっ歯類の麻酔および安楽死法の実際」 岡村匡史(国立研究開発法人国立国際医療研究センター研究所動物実験施設)

〈広東省実験動物学会 特別講演〉

「Establishment and evaluation a transgenic mouse model of arthritis induced by overexpressing human tumour necrosis factor alpha」 Ge Li(Guangdong Laboratory Animals Monitoring Institute)

「Introduction of Chinese experimental miniature pig breeding and research progress of genetically engineered pig」 Weiwang Gu(Southern Medical University)

〈ポスターセッション〉

【九実研】

1. クライオトップを用いたウサギ桑実胚の凍結における凍結保存液の検討 秋吉俊明ら(佐賀大総合分析実験センター生物資源開発部門)
2. 新たな疾患モデル動物作出に向けて～新規ジストロフィーモデルとしてのヨーロッパモリネズミの可能性～ 加藤悟郎ら(宮崎大フロンティア科学実験総合センター生物資源分野、宮崎台農学部獣医解剖学講座)
3. ヨーロッパモリネズミにおける高脂血症に関連する表現型の探索 泉 陽介ら(宮崎大フロンティア科学実験総合センター生物資源分野、宮崎大農学部畜産草地学科)
4. 膣インピーダンス法を用いた野生齧歯類の繁殖状況評価に向けたマウスにおける基礎研究 吉末賢広ら(宮崎大フロンティア科学実験総合センター、九州保健福祉大学薬学部、宮崎大農学部畜産草地学科)
5. ラットにおけるプロゲステロン製剤投与による妊娠の同期化 中村 智ら(九動(株) 技術開発部)
6. DBA/2FG-psy マウスにおける胚移植による産子率の改善方法に関する検討 川口正俊ら(九動(株) 技術開発部)
7. Single-nucleotide polymorphism analysis of GH, GHR, and IGF-1 genes in minipigs. Y. G. Tian, *et al.* (Laboratory Animal Center, Southern Medical University, Guangzhou, Guangdong, China, *et al.*)
8. Associated analysis of single nucleotide polymorphisms found on exon 3 of the IGF-1 gene with Tibetan miniature pig

growth traits. M. Yue, *et al.* (Department of Laboratory Animal Center, Southern Medical University, Guangzhou, China, *et al.*)

9. Irradiation induced injury reduces energy metabolism in small intestine of Tibet minipigs. Yu-Jue Wang, *et al.* (Department of Laboratory Animal Center, Southern Medical University, Guangzhou, Guangdong, China, Pearl Laboratory Animal Sci. & Tech. Co.Ltd., Dongguan *et al.*)
10. 18F-FDG uptake by spleen helps rapidly predict the dose level after total body Irradiation in a Tibetan minipig model. Yu Jue Wang, *et al.* (Department of Laboratory Animal Center, Southern Medical University, Guangzhou, Guangdong, China, *et al.*)
11. miRNA Biogenesis Enzyme Drosha Is Required for Vascular Smooth Muscle Cell Survival. Pei Fan *et al.* (Department of Pathology, Center for Cancer Research, University of Tennessee Health Science Center, Memphis, Tennessee, United States of America, Southern Medical University, Guangzhou, Guangdong, China, *et al.*)

【実技協九州支部】

〈一般演題〉

1. 実験動物飼育環境整備に微酸性水を用いた消毒効果評価法検討 田島柳一ら(福岡大アニマルセンター、(株)アニマルケア、OSG コーポレーション)
2. 施設で飼育されたウサギからの *Bordetella bronchiseptica* の分離および同定 亀山英子ら(九州大院医学研究院附属ヒト疾患モデル研究センター動物実験施設、九州大院医学研究院実験動物学分野)

〈日常業務の最前線〉

1. ラットにおける X 線 CT 装置を用いた in vivo および ex vivo 骨関連指標測定法 迫 浩光ら(株新日本科学)
2. 愛媛大学動物実験センターの改修に伴う新規入退館管理システムの導入と利用同線の改善 柳原裕太ら(愛媛大学術支援センター動物実験部門)
3. 精子運動機能解析装置(IVOS)を用いたビーグルの精子検査法 榊 秀幸ら(株新日本科学)
4. 動物飼育ケージの清浄度評価における A T



Pふき取りの有用性 藤崎 健ら(榊新日本科学)

〈九動研総会〉

〈特別講演(九実研)〉

体外卵子産生系の構築と卵母細胞分化メカニズムの解明 林 克彦(九州大院医学研究院ヒトゲノム幹細胞医学分野)

〈九実研・実技協九州支部・実動協九州支部合同シンポジウム〉

『高度免疫不全動物の特性と適切な維持管理方法について考える』

1. 高度免疫不全動物開発の歴史とそれら動物の特性 伊藤 守(公益財団法人実験動物中央研究所 副所長・研究開発部門長)
2. 免疫不全動物の飼育管理 池 郁生(国立研究開発法人理化学研究所バイオリソースセンター実験動物開発室)

○九州実験動物学雑誌 No. 31 2015 年 10 月発行

## 琉球実験動物研究会

Ryukyu Association for Laboratory Animal Science

会長：小杉忠誠（琉球大学名誉教授）

事務局：〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町上原 207

琉球大学医学部附属動物実験施設内  
上田智之

E-mail: Ueda@med. u-tyukyu. ac. jp

TEL: 090-895-1208、FAX: 098-895-1441

## 第 23 回研究会

平成 27 年 2 月 21 日(土)、沖縄科学技術大学院大学

〈第一部〉

「動物実験及び実験動物のための有用な技術」

1. 小動物  $\mu$  CT と光イメージングを使ったマルチモダリティ技術 堀内真千子(住商ファーマインターナショナル(株))
2. CRISPR/Cas9 システムを用いたゲノム編集動物の作出 鈴木登志郎(日本エスエルシー)

〈第二部〉 シンポジウム

「齧歯類の苦痛軽減のための麻酔法」

1. マウス・ラットにおける三種混合麻酔薬の麻酔効果について 桐原由美子(島根大)
2. 吸入麻酔 今野兼次郎(京都産業大)
3. 胎児、新生児の麻酔 鈴木 真(沖縄科学技術大学院大)

文責：岡山実験動物研究会事務局

岡山大学大学院環境生命科学研究科・農学部動物遺伝学教室気付

TEL: 086-251-8314

編集担当 佐藤勝紀

E-mail: ksato@cc. okayama-u. ac. jp